
ヘッドライン

- [政観事務所移転](#)
- [ブダペスト交通局運賃改定](#)
- [「Let's Go海外!の日」\(7月11日\)](#)
- [旅の魅力再発見レポーター募集第2弾](#)
- [ホームページ問題の解消](#)
- [【コラム】ハンガリー見聞録](#)

ハンガリーのイメージ:[パンノンハルマ修道院とひまわり畑](#)

政観事務所移転 [ヘッドラインへ](#)

ハンガリー政府観光局東京事務所は、7月31日付で移転します。移転先は、在日ハンガリー共和国大使館横で、8月17日から業務を再開する予定です。

- 移転先住所：108-0073東京都港区三田2-17-14
NSビル(ハンガリー大使館横)

ブダペスト交通局運賃改定 [ヘッドラインへ](#)

7月1日の付加価値税の変更に伴い、ブダペスト交通局の運賃が下記のように改定されました。

改定後の主な運賃

| 乗車券など | 運賃 (HUF) |
|------------|----------|
| 1回乗車券 | 300 |
| 車内購入乗車券 | 400 |
| 10回回数券 | 2,700 |
| 1日乗車券 | 1,550 |
| 3日乗車券 | 3,850 |
| 7日乗車券 | 4,600 |
| 地下鉄区間乗車券 | 250 |
| 乗継乗車券 | 470 |
| ブダペスト2週間パス | 6,200 |
| ブダペスト1月定期券 | 9,400 |

なお、ハンガリー鉄道は7月15日から運賃を改定します。例えばブダペスト東駅-ミシュコルツ・ティサ駅間182kmは2,780HUFから140HUF値上げされ2,920HUFとなります。

「Let's Go海外!の日」(7月11日) [ヘッドラインへ](#)

ANTOR (在日外国観光局協議会) は7月11日 (土) に東京ミッドタウンで

「Let's Go海外！の日」イベントを開催します。

このイベントでは各国政府観光局や旅行代理店、航空会社などの44の出展者が各種情報を提供する他、航空券や宿泊券など盛りだくさんの景品が当たる大抽選会が行われます。

- 日時：2009年7月11日土曜日、11:00から19:00まで
- 会場：東京ミッドタウン内「アトリウム及びキャノーピースクエアー」
- 入場料：無料
- 大抽選会：14:00からと17:00からの2回
- 詳細は：<http://www.letsyokaigai.com/>



旅の魅力再発見レポーター募集第2弾 [ヘッドラインへ](#)

“もっと！海外へ”をスローガンに、2010年までに海外旅行者数年間2000万人を目指して展開する「ビジット・ワールド・キャンペーン（VWC）」の一環として、「旅の魅力再発見レポーター」を一般より公募しています。

今回の対象国地域は、オーストリア、クロアチア、上海、ハンガリー、ベトナム、マカオ、マレーシアです。主な募集要項は次の通りです。

- 募集人数：各国1名（同伴者は1名まで）
- 募集期間：2009年7月1日から8月31日まで
- 派遣期間：2009年10月1日から2010年1月14日までの期間
- 派遣費用：主催者負担（具体的な負担範囲は下記ホームページを参照）

- 問合せ先：旅の魅力再発見レポーター募集
第2弾！キャンペーン事務局
vwc@jata-net.or.jp
- 応募方法などの詳細：<http://www.vwc09.jp/>

ホームページ問題の解消 [ヘッドラインへ](#)

先週以来、政観ホームページの閲覧時に悪意あるソフトウェアが検出されたとのこと報告をいただいたり、Googleで「ハンガリー政府観光局」と検索すると「このサイトはコンピューターに損害を与える可能性があります。」との警告メッセージが出されています。

この問題を解決するため、ホームページを収納しているサーバー内のコンテンツを全て一時削除すると共に、複数のセキュリティーソフトを用いてホームペー

ジ内のコンテンツに悪意あるソフトウェアが存在しない事確かめ、サーバー内へコンテンツをアップロードしました。

この結果、現在政観ホームページを閲覧しても、セキュリティーソフトによる警告メッセージは出なくなっています。

ここに、ご迷惑をおかけした事をお詫びすると共に、今後もセキュリティー一面で万全な対策を取ってまいりますことをお知らせいたします。

【コラム】ハンガリー見聞録 [ヘッドラインへ](#)

その1 ドナウをのんびり川下り ②

センテンドレ発ブダペスト行き、マハルトパスナーヴのドナウ川航路、5時に定刻出発です。静かに静かに岸を離れていきます。お客さんは大半が各国からの観光客のようですが、ハンガリーの人も家族連れで乗っていたり、小学生くらいの子どもの団体が遠足か何かで乗っていたり、観光客限定という訳でもなさそうでした。みんなリラックスして楽しそうな表情です。特に、子どもたちがはしゃがずに静かに乗っているのが印象的でした。

BUFE

も程なく営業開始、ビールやジュースがどんどん売れています。エスプレッソコーヒー250Ft、注文した時点でおとしてくれます。カウンターに置いてある船の時刻表をパラパラめくっているところに、どうぞ〜と差し出されたのは、ペラペラのプラスチックカップに半分くらい入って湯気をたてるコーヒー…。野外の宴会なんかで使うあのカップです。手があついこと…まあ御愛嬌ですね。

夕刻で、陽ざしが少々傾き加減になってくると、進行方向に向かって左側の席にすわれば眩しくなく、写真がきれいに撮れそうです。右側の席からはやや逆光状態ではありませんが、川沿いに走るHEVや駅が見えます。川から見上げる景色や街並みは、バスやHEVからの目線とは全く違う趣きがありました。

また、船室内の席から見えるドナウ川の川面は、美しく青き…には程遠い、茶色い濁流なのですが、水がキラキラと輝いて、時折、川遊びのモーターボートが派手な水しぶきを上げながら船を追い越し、横で華麗なターンを披露してくれたり、船旅気分を盛り上げてくれます。ノンストップでゆったりのんびり、景色が時間と共にゆらゆらと流れていく中に身を置いて、輝く水面を見ていると、日常の慌しさをすっかり忘れてリラックスできました。

橋を3つほどぐぐり、景色がどんどん都会化して、いよいよバッチャーニテール到着です。数名のお客さんを降ろし、ぐるりとターンして終着のヴィガドーテールに向かいます。オルサーグハーズ(国会議事堂)や漁夫の砦、マーチャーシュ教会を見上げ、くさり橋をくぐってヴィガドーテールに着きました。スタッフがお客さん一人一人の手をとって、危なくないように降ろしてくれます。ヴィスラート！ 小一時間ののんびりした船旅、これにて終了です。

冬にハンガリーを訪れることが多く、日常でもなかなか船に乗る機会のない私にとっては、とても非日常的で新鮮で、味わい深いひと時となりました。

船のお好きな方、いろいろな乗り物を楽しみたい方、冬にはできないドナウ川のプチ船旅、ぜひ体験してみたいだければと思います。のんびりゆったり、緩さが素敵ですよ〜！

次回は、マルギット島のお話をさせていただこうと思います。ではまた！



出発した船からどんどん遠ざかるセンテンドレの街です。



ブダペストに帰ってまいりました。バッチャーニテールの船着場です。マーチャーシュ教会、漁夫の砦が見えます。反対側には、オルサーグハーズ(国会議事堂)が大きく鎮座しています。

ハンガリーイメージ： パンノンハルマ修道院とひまわり畑 [ヘッドラインへ](#)



ブダペストとウィーンのほぼ中間に位置する世界遺産パンノンハルマ修道院を背景に咲くひまわり。6月末から7月にかけてひまわりやラベンダーの咲きほこる時期です。

(2009年7月1日撮影)